



ほしぐみだより

3月号



令和3年3月1日（月）
尚徳福祉会 井荻保育園

早いもので今年度も残す所一カ月となってしまいました。子ども達は4月の頃に比べて安心して自分の思いを表現する姿が見られます。また、身の回りの事にも関心が出て来て「じぶんで!!」と身支度をしたり着替えに取り組む姿も増え、一年間の成長を感じます。

今月は、安心して進級が迎えられるように、子ども達の成長を言葉にして伝えることで自信に繋げていきたいと思ひます。また、つき組での生活を知らせ、「どんな遊びをしようか?」「こんなことができるようになるんだよ」など会話を楽しむ中で、大きくなる事(進級)に期待や自信が持てるようにしていきたいと思ひます。

3月のわらい

安心して進級を迎える

今月のうた

- ・うれしいひなまつり
- ・はるがきた
- ・おはながわらった

健康

引き続き感染症には留意し、体調管理を徹底していきたいと思ひます。また、感染予防として子ども達にも手洗いを丁寧に言う事を伝えたり、鼻汁が出たら「気持ちわるかったね」と不快を知らせ、拭き取ることで心地よくなる事を知らせていきます。

鼻汁、咳などの症状がある場合には、その都度保護者の方にもお伝えいたしますので、受診や静養など願ひする事もあるかと思ひます。

今月の活動

室内

★つき組のお部屋に遊びに行こう!★

4月から生活する2歳児(つき組)のお部屋で遊び、興味や関心を育てていく事で進級への期待や安心に繋げていきます。

また、これまで1階での生活でしたが、春からは2階での生活が始まります。毎日の登降園や外遊びの際には内階段を使用します。子ども達が安全に上り下り出来るように練習をしていきたいと思ひます。

戸外では

★春の訪れを感じよう★

寒さの残る中でも、花のつぼみや暖かい日差しなど、子ども達と一緒にたくさん春を見つけて、季節の移り変わりを知らせていきます。

また、年度末は気温の上昇と共に気分も軽くなり(緩み)がちで思わぬ怪我が増える時期です。体操などで体を温めてから外に出るようにし、引き続き身体を使って遊ぶことで体幹を養ってきたいと思ひます。

～ある日の絵本コーナーでの一場面です～

A君が絵本を読んでいると、B君も近寄っていき絵本を探し始めました。しかし見たい絵本が見つからず、A君の絵本を欲しがって無言で絵本を引っ張ってしまいました。見ていた保育士はB君に「A君の持っている絵本がいいね。貸して欲しいね。A君かしてくれるかな?聞いてみたら!？」と声をかけました。するとA君は「いいよ。どうぞ」と持っていた絵本を手渡してくれました。

保育士は驚きながらもB君に「よかったね。どうぞしてくれたね。嬉しいね」と声をかけると、B君は、A君に「ありがとう」とニコリ。その後は隣同士で絵本を読み、A君が押し入れ下でごっこ遊びを始めると、B君も真似っこして一緒に遊び始めました。

ほし組の子ども達は今、お友達のしている事にとっても感心が高く、お友達の持っているものは特に魅力的です。きっとB君も絵本が欲しいというより、A君と遊びたい思いが強かったのではないのでしょうか。そして、「これがほしい」、「こうしたい」という自分の意志で動き、遊び始めるようになった一歳児の子ども達にとって、お友達に貸してあげるという事は、とても大変なことです。今のこの時期に必要なのは、大人が「かしてあげなきゃだめ」と決めてしまわぬように、まずは、それぞれの気持ちを尊重して、認めていく事だと考えています。お友達とのやりとりの中では当然、楽しい、嬉しい事だけでなく、うまくいかずイライラしたり悔しい、悲しいこともあるのですが、そのうまくいかなかった時こそ、保育士が「思い通りにいかなくて嫌だったのよね」と、ただただ気持ちを丸ごと受け止めることで、その子は自分で立ち直り、じゃあどうするかと考える力をつけていきます。

子ども達が自分の気持ちを言葉にしたり、お友達の気持ちにも気付いていく為には、まず保育士が子ども達の気持ちをしっかりと認め、言葉にしていく事が大切だと思ひています。

担任からのメッセージ

絵本を読むと真剣な表情で聞き入り、「せんせいよんで」と何度もリクエストして楽しんでくれたほし組さん。自分の気持ちも少しずつ言葉で伝えられるようになりました。これからも自分の気持ちを全身で表現して欲しいです。

お子さまたちの成長がめざましく、太陽のようなお子さまたちとの生活が私の元気の源でした。たくさん遊んで、たくさん散歩して、たくさん笑った一年間でした。

10月から担任になり、お子さんたちの成長に携われて楽しい日々でした。「やって、手伝って」と言っていたのが、あっという間に自分で着替えも出来るようになり、感動する日々でした。

(1歳児フリー)

子ども達の成長を間近で感じる瞬間がたくさんあり、とても嬉しかったです。

一年間、保育へのご理解、ご協力ありがとうございました。